

事業者・労働者のみなさまへ

第2回 化学物質管理強調月間を実施します

(期間：令和8年2月1日～28日)

○ 化学物質管理強調月間の趣旨

国内では現在数万種の化学物質が輸入、製造、使用されていますが、その取扱いについての労働安全衛生法の規制は一部の物質に限られており、規制対象外の物質による災害も多いことから、職場で使用する危険又は有害な化学物質について、事業者自らがリスクを評価し、改善する「自律的な管理」への移行を図る一連の法改正が行われ、令和5年4月1日から順次施行されています。

こうした背景などを踏まえ、産業界における自律的な化学物質管理活動を推進するとともに、広く一般に職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚と化学物質管理活動の定着を図るため、今年度も第2回の「化学物質管理強調月間」を実施することとします。

第2回のスローガンは「**慣れた時こそ再確認 化学物質の扱い方**」です。

○ 化学物質管理強調月間に職場で取り組んでいただきたい事項は次のとおりです。

① (ア)～(エ)の重点事項について、日常の化学物質管理状況の総点検を行う

- (ア) リスクアセスメント対象物を製造又は取り扱う際の化学物質管理者の選任、職務権限の付与、化学物質管理者の氏名の掲示等労働者への周知、化学物質管理者と総括安全衛生管理者、産業医、衛生管理者、衛生推進者等との連携
- (イ) 製造し、又は取り扱っている化学物質の把握及び、化学物質の安全データシート（以下「SDS」という。）等による危険有害性等の確認
- (ウ) ラベル表示・SDS交付、リスクアセスメントの実施、リスクアセスメントの結果に基づくばく露低減措置の実施等
- (エ) 特定化学物質障害予防規則等の特別規則、石綿障害予防規則の順守の徹底

② 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視

どのような化学物質が使用されているか、化学物質の取扱いに関する法令や社内ルールが守られているか等を事業者（代表者）や安全衛生管理の担当者自ら確認しましょう。

③ スローガン等の掲示

④ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施

急性中毒が発生したとき、とっさに救助に駆け寄った方が被災するケースもあります。災害が発生した場合の段取りをしっかりと確認しておきましょう。

⑤ 化学物質管理に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他化学物質管理への意識高揚のための行事等の実施

～ 関連ホームページ等のご案内 ～



【第2回 化学物質管理強調月間実施要綱】

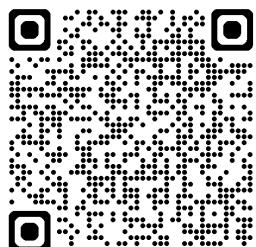
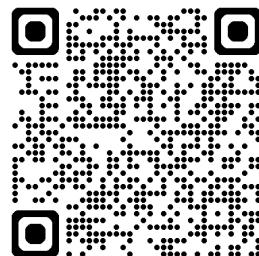
月間の趣旨や月間中の取組事項などが掲載された実施要綱です。
表面の「○ 化学物質管理強調月間に職場で取り組んでいただきたい
い事項は次のとおりです。」の内容などを確認できます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001590203.pdf>

【中央労働災害防止協会】

「令和7年度 化学物質管理強調月間」特設ページです。
化学物質管理に役立つ情報へのリンクがまとめられています。
実施要項も掲載されています。

<https://www.jisha.or.jp/info/campaign/chemicals/>



【厚生労働省】

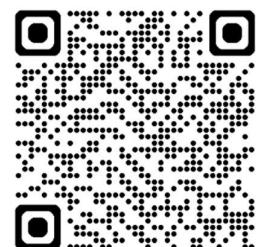
「職場における化学物質対策について」

職場の化学物質に関する厚生労働省の取組や資料等を紹介しています。
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_rou
doukijun/anzen/anzeneisei03.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudoukijun/anzen/anzeneisei03.html)

【独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所】

職場の化学物質総合サイト「ケミサポ」のリンクです。
化学物質管理を易しく学べます。

<https://cheminfo.johas.go.jp/>



【鹿児島労働局】

「化学物質による健康障害防止対策」に関するリンクです。

[https://jsite.mhlw.go.jp/kagoshima-
roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/eisei/2023-
0123-6_10.html](https://jsite.mhlw.go.jp/kagoshima-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/eisei/2023-0123-6_10.html)